

かみもべつ

国登録有形文化財旧上藻別駅通所



旧上藻別駅通所と馬に乗ってオープンを祝う保存会のメンバー（平成15年5月）

駅通所とは、北海道開拓時代の馬と共に泊まれる宿泊所であり、人馬の貸し出し、貨物の運送、郵便の取扱いなどの業務も担う北海道独自の制度によって設置された施設です。

大正15年に建設された上藻別駅通所は、かつて「東洋一の金山」と云われた旧鴻之舞金山と紋別市街の中継点として、昭和15年まで活用されましたが、その後老朽化が進み、その歴史を閉じようとしていました。

そこで、往時の賑わいを今に伝えるただ一つの建造物であるこの消えかけた遺産を守ろうと平成16年、元鉱山関係者5人の有志が立ち上がり、「上藻別駅通保存会」を結成しました。

旧鴻之舞金山の歴史を後世に語り継ぐ資料館として、「駅通所

を当時の姿に必ず蘇らせる」という会の熱い思いが地域住民の共感を呼び、活動初期から地域ぐるみの手づくりで、少しずつ修復が行われました。

展示物の多くは住民からの寄贈によるもので、平成17年に歴史博物館として開館しました。

その後も、地域が一丸となって駅通所周辺施設の修復活動が続けるとともに、歴史の伝承活動も続け、今では、地域住民と他地域の交流、高齢者と若年者の交流など、開拓時代に駅通所が持っていた交流の場としての役割が現代に蘇っています。

また、平成20年には、国の登録有形文化財に指定された他、韓国映画のロケ地にも採用されるなど、その知名度も上がっており、多くの観光客にも注目されるまでになっています。



駅通所に隣接するサイロ修復風景



展示される古道具は手に触れることができます



地元中学生の学習施設となっています



鴻紋軌道を走っていた汽車の木製模型は押すと動きます

■所在地

北海道紋別市上藻別297番地1

■活動内容

- ・上藻別駅通所（鴻之舞金山資料館）の運営：4月下旬～11月下旬 月曜日休館
- ・上藻別駅通所等の修復活動：平成16年11月～現在も継続中
- ・鴻之舞金山の歴史伝承活動：歴史資料の説明
- ・市民農園の運営：5月中旬～10月中旬
- ・イベント（水車を使ったソバ挽き体験等）：5月中旬～10月中旬

■活動主体名

上藻別駅通保存会

■応募者又は推薦者・担当部局名・連絡先等

上藻別駅通保存会（オホーツクさろん）
電話番号：0158-27-5515

